

※結果分析(○できている ●できていない)

<学力調査>

【国語】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことでは、「いがい」85.5%、「きかん」85.5%でした。
- 文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる問題、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる問題では、正答率が100%でした。
- 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題では、正解率85.5%で、全国平均より28.1ポイント高いです。
- 無回答がなく、全ての問題に挑む姿が見られました。
- 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題の正答率が全国平均より24.5ポイント低いです。家庭学習や授業の中で、音読の充実を図り、読み取る力を付けていきます。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題では、全国平均より13.3ポイント低いです。学習の中で、自分の考えをノートに書き、話し合うようにしていきます。加えて、他者の考えと比べながら聞く力を高めていきます。

【算数】

- 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題では、全国平均よりも18ポイント高いです。
- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる問題。伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる問題共に正答率が100%でした。
- ()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる問題では、全国平均よりも15.4ポイント高いです。
- 台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題では、全国平均より16.9ポイント低いです。授業や放課後学習の中で多角形の特徴をふりかえり、その意味や性質について学習し理解を深めていきます。
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる問題では、全国平均より13.8ポイント低い結果となりました。授業の中で、一人で考える時間を大切し、理由を言葉や文章で説明するように仕組んでいきます。加えて、文章を正しく読み取る力も高めていきたいと思えます。

<学習状況調査>

- 全員が、人の役に立つ人間になりたいと思うと答えています。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがあると全員が答えています。
- 授業では、国語・算数の授業のがよくわかるでは、肯定的評価71.5%。課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたでは、肯定的評価71.4%でした。学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると全員が答えていました。
- 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。では、肯定的評価が85%。学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと答えた児童が100%でした。
- 将来の夢や目標をもっている人は57.2%で全国平均と比べて24.3ポイント低いです。キャリア教育の充実を図り、将来の夢や目標がもてるように応援をしていきます。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できている人は、28.6%で、全国平均と比べて39.9ポイント低いです。授業や日々の活動を通して児童との信頼関係をしっかりと結んでいきます。
- 自分にはよいところがあると答えた児童は、71.4%で全国平均と比べて12.1ポイント低いです。児童のがんばりや一人一人の良さに目を向け、しっかりと声かけを行います。
- 地域や社会をよくするために何かしたいと思うでは、57.2%の児童が肯定的回答をしました。地域学習を行う中で、地域の良さについて考えたり、触れたりすることを大切にしていきます。

※学校としての対応・目標

- ◎授業では、音読、読書をする時間の確保を行い、読む力を高めます。
- ◎授業では、聞き方やふりかえりの視点を掲示し、全校で共有することで意識を高めていくことを継続していきます。
- ◎「漢字検定」「計算検定」を各学期末に実施して、基礎基本の定着を図ります。
- ◎「土居小タイム(放課後学習)」「主体的な学習の基盤作り事業(学サポ)」の充実を図り、国語や算数の基礎基本と共に、発展問題にも取り組みます。
- ◎ICTの活用を推進し、授業と家庭学習の連動を図ります。
- ◎家庭と連携し、「家庭学習の手引き」「家庭学習がんばりカード」を活用して「10分×学年＋10分」の家庭学習を児童が自分の課題に目を向け、主体的にできることを目指します。また、週末課題として、読書、作文・日記に取り組みます。
- ◎読書では、自分の思いや願いを大切に本を選び、一人読みと共にPTAと連携を図り、ふれあい読書の推進に努めます。
- ◎携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの使い方について、学級指導を行ったり、学級懇談や人権PTAなどで保護者の方と共に考える機会をもったりして、よりよい使い方ができるように取り組みます。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。